

# 保土谷化学グループの事業概要



## 機能性色素セグメント

<https://www.hodogaya.co.jp/products/segment01/>



保土谷化学のDNAである「有機合成技術」等を駆使し、グローバルで、顧客ニーズを具現化する力

### 3つの強み

有機ELの各種材料をトータルで提案可能なラインナップ

世界シェアでトップクラスのアルミ着色用染料

世界オンリーワンのカラートリートメント染料

### 事業内容

#### ● 有機EL材料

スマートフォンやタブレット、スマートウォッチ等のディスプレイとしてその需要が拡大中であり、今後はテレビや車載用分野への展開が期待されております。また、有機EL材料の応用技術として独自開発した、PCR診断キット用材料（蛍光材料、消光材料、プローブ等）は高い評価を受け、新たな分野へも展開しております。

#### ● イメージング材料

複写機やプリンターの機能の発揮に欠かせない重要な材料であり、OA環境の高精度化に貢献しております。

#### ● 色素材料

独自の技術による染料製品が、高品質品として国内外から高い評価を得ております。（アルミ着色用、文具用、カラートリートメント用、カラーフィルター用等）

#### ● 天然色素

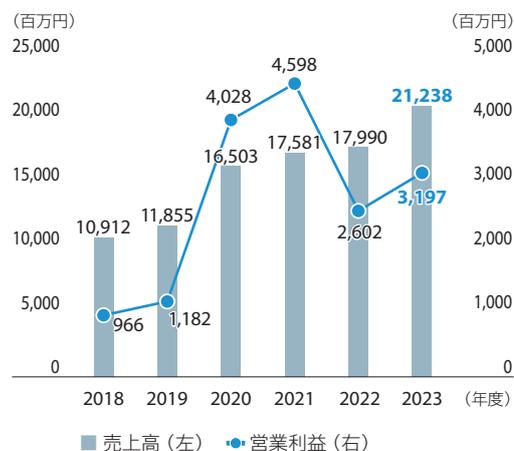
食品に色を添え、食欲を増進させる等重要な役目を担っており、保土谷化学はそのパイオニアとして、食品のおいしさや楽しさの演出に貢献しております。また、家電等の着色にも使用されており、環境に配慮した用途を拡大しております。

## 中期経営計画の進捗

有機EL材料事業は、有機ELディスプレイの用途拡大とともに新製品での採用等により販売が拡大しております。今後もタブレット等の採用範囲の拡大によって、さらなる成長が期待されている分野ですが、競合各社との開発競争が非常に厳しく、高性能・低コストが求められることから、研究開発強化に引き続き取り組んでまいります。

色素材料事業は、繊維向け染料の海外需要や、アルミ着色用染料の需要が好調に推移しております。今後とも、環境対応型製品の開発等による販売拡大を目指してまいります。

## 売上高・営業利益



関連するグループ会社：SFC CO., LTD.  
事業内容：有機EL材料およびバイオ材料の製造・販売

所在地：89, Gwahaksaneop 5-ro, Ochang-eup, Cheongwon-gu  
Cheongju-si, Chungcheongbuk-do, Korea 28122  
ホームページ：https://sfc-dye.com/



## 保土谷化学グループの事業概要



### 機能性樹脂セグメント

<https://www.hodogaya.co.jp/products/segment02/>



「ホスゲン化技術」等を駆使し、  
スペシャリティ品をグローバルに展開できる力

3つの強み

世界トップクラスの有機合成技術を  
駆使したウレタン原料

環境に配慮した、  
特定化学物質を含まない防水材

世界シェアでトップクラスの  
樹脂材料・医薬中間体・  
特殊繊維材料

事業内容

#### ● 樹脂材料

ウレタンに柔軟性や弾性（ゴムのような特性）を持たせるために必要な、PTGと呼ばれる材料が中心となります。ウレタンは、衣類、自動車部材、レジャー用品等の幅広い分野で使用されています。なお、環境に優しく、従来と同等の品質を保つ製品として、主原料を石油系から植物由来に切り替えたバイオPTGに注力しております。

#### ● 建築材料

他社に先駆けて開発されたウレタン塗膜防水材がその主軸です。ウレタン塗膜防水材は、オフィスビル、学校の屋上や大型店舗の立体駐車場の屋上防水等、幅広く使用されています。

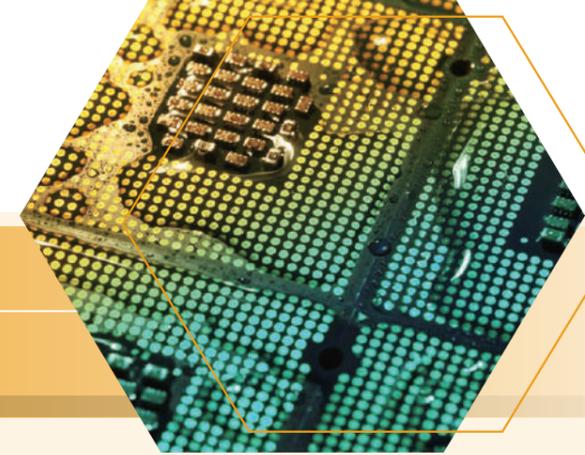
#### ● 特殊化学品

長年にわたり蓄積してきた有機合成技術や独自のホスゲン化技術等を駆使した中間材料や添加剤です。医薬品、化粧品分野など、さまざまな分野のお客様の特殊な要望に、きめ細かにお応えしております。



### 基礎化学品セグメント

<https://www.hodogaya.co.jp/products/segment03/>



長年培った過酸化水素の「製造技術」を基に、  
新規用途へ展開する発想力

3つの強み

50年以上にわたり蓄積してきた  
過酸化水素製造の経験・知見

過酢酸、動物薬をはじめ  
多岐にわたる誘導体を作る  
研究開発力

土壌改良等、地球環境に貢献する  
用途を展開する発想力

事業内容

● 保土谷化学では50年以上にわたって、過酸化水素およびその誘導品を開発、製造、販売しております。

● 過酸化水素は、水と酸素に分解するという特徴から、環境に優しくクリーンな製品として、幅広い用途で皆様の生活をサポートしております。過酸化水素は、従来からの紙パルプの漂白や工業薬品向けだけでなく、動物薬などへの展開により、積極的に販売分野を拡大しております。

● 過酸化水素の誘導品として、過炭酸ナトリウムと過酢酸があります。過炭酸ナトリウムは、漂白剤や洗浄剤として使用されており、過酢酸は、日本で初めて食品分野向けの製造許可を取得し、現在その展開を加速しております。

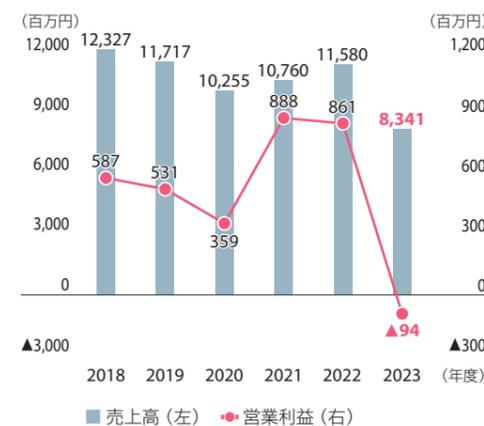
### 中期経営計画の進捗

樹脂材料事業は、一部製品での終売や、海外顧客でのウレタン材料の在庫調整等の影響が続いたことで減収となりましたが、バイオ化製品等の販売拡大を目指してまいります。

特殊化学品事業は、医薬向けおよび剥離剤向けの需要が低迷したものの、一部設備の増強、試作製品製造設備の新設を行い、販売拡大を目指してまいります。

建築材料事業は、材料販売を中心に堅調に推移しており、今後とも、次世代防水材等の販売拡大を目指してまいります。

売上高・営業利益



関連するグループ会社：保土谷建材株式会社  
事業内容：土木・建築材料の製造・販売

所在地：〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号  
TEL 03-6852-0478 (大代表)  
ホームページ：http://www.hodogaya-cp.com

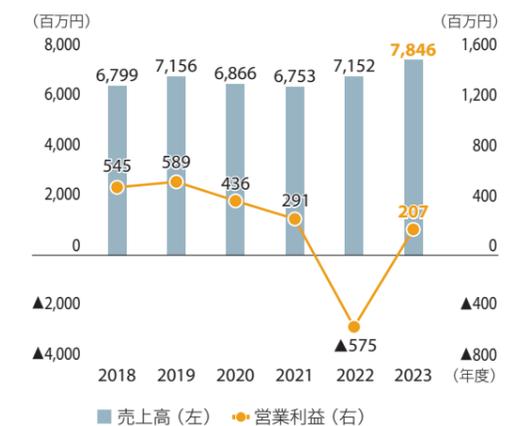


### 中期経営計画の進捗

過酸化水素の販売において、一部で需要減が見られるものの、コスト上昇分の価格転嫁を進めたことで、前期並みを確保しました。過炭酸ナトリウムも、価格転嫁に加え、需要の回復ならびに新規顧客の取り込みにより、大幅な増収となりました。

引き続き、原燃料価格高騰の影響は継続するものと思われませんが、各種コストダウンの推進による事業収益の改善と新たな市場が見込まれる食品添加物用過酢酸等において、新規顧客の獲得、販売増を目指してまいります。

売上高・営業利益



関連するグループ会社：桂産業株式会社  
事業内容：化学品の仕入・販売

所在地：〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号  
TEL 03-6852-0490 (大代表)  
ホームページ：http://www.katsura-ks.co.jp/



保土谷化学グループの事業概要

アグロサイエンスセグメント

<https://www.hodogaya.co.jp/products/segment04/>



「製剤化技術」を基に  
魅力ある製品を開発する力

3つの強み

国内シェアで  
トップクラスの家庭園芸用除草剤

常に新しい製品を上市する提案力

農業用酸素供給剤等  
除草剤以外にも展開する  
研究開発力

事業内容

- アグロサイエンスセグメントの製品は、農耕地から生活環境、鉄道、山林、ゴルフ場での雑草、病害虫管理、環境保全に至るまで、幅広い分野で貢献しております。
- 自社原体を中心とした各種原体を活用し、現地、お客様のニーズに合わせて使いやすさと安全性を兼ね備えた新たな製剤開発を継続しており、とりわけ、家庭園芸や緑地管理で使用される除草剤は、業界トップクラスのシェアを誇ります。
- 気象条件等により悪化した土壌環境を改善し、作物の安定生産につなげていくための土壌改良資材として、酸素供給剤の製造ならびに市場開拓も行っております。

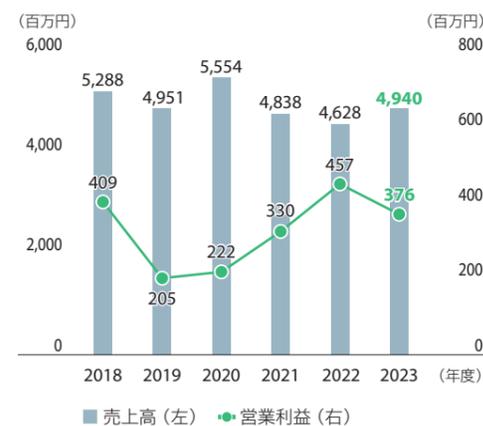
中期経営計画の進捗

家庭園芸向け除草剤およびゴルフ場向け除草剤での需要が好調に推移いたしました。

基礎化学品およびアグロサイエンスのセグメントにまたがる部分では、「新たな事業領域：環境重視型農業資材」の重要施策として、保土谷化学の過酸化水素を用いた「酸素供給剤」と朝日アグリア株式会社の「堆肥」との複合農業資材を新たに共同開発し、今後の事業化に向け検討を進めてまいります。

今後も、事業収益を維持拡大すべく、農業用過酸化水素等、他社との協業も含め、魅力ある商品の投入に向け、取り組んでまいります。

売上高・営業利益



関連するグループ会社：保土谷UPL株式会社

事業内容：農業の製造・販売

所在地：〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号

TEL 03-6852-0500 (大代表)

ホームページ：http://www.hodogaya-upl.com/



関連するグループ会社：保土谷アグロテック株式会社

事業内容：農業の製造・販売

所在地：〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号

TEL 03-6852-0510 (大代表)

ホームページ：http://www.hodogaya-agrotech.co.jp/



中期経営計画の進捗

中国をはじめとする海外での景気減速により、輸出貨物の取り扱いが低迷し、減収となりました。

化学メーカーにおける物流事業として、危険物・毒劇物の取り扱いノウハウを活かしたISOタンクコンテナ保管事業を2021年10月より開始しており、さらなる顧客獲得に向け、取り組んでまいります。

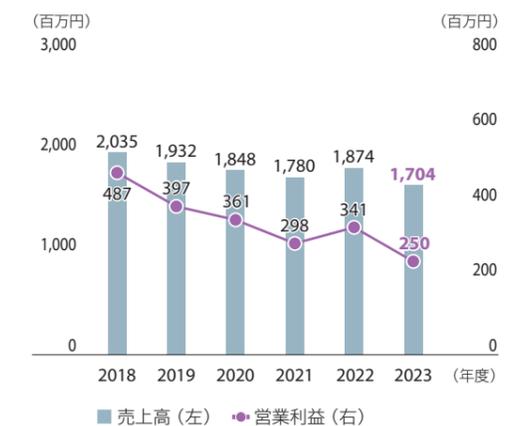


倉庫風景

関連するグループ会社：保土谷ロジスティクス株式会社

事業内容：倉庫業、貨物運送取扱業

売上高・営業利益



所在地：〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号

TEL：03-6852-0520 (大代表)

ホームページ：http://www.hodogaya.co.jp/hlc/

